

PALTEK

(JASDAQ:7587)

**2011年12月期 第1四半期
決算補足資料**

2011.5.11 (水)

① 2011年12月期 第1四半期
業績結果

② 2011年12月期 業績予想



2011年12月期 第1四半期 業績結果

2011年12月期 第1四半期の業績結果について、説明いたします。



2011年12月期第1四半期 業績結果

(百万円)	2010年 第1四半期	2011年 第1四半期	増減	増減率	主な増減理由
売上高	3,785	3,945	159	4.2%	
売上総利益	651	702	51	7.9%	
売上総利益率	17.2%	17.8%	0.6%	—	
販管費	620	641	21	3.4%	顧客の倒産により貸倒引当金 22百万円を計上
営業利益	31	61	30	97.9%	
営業利益率	0.8%	1.6%	0.8%	—	
経常利益	30	28	△2	△6.8%	ドル円相場が円安に進行し、 為替差損29百万円を計上
四半期純利益	8	△19	△28	—	特別損失として、資産除去債務 △34百万円を計上

FY2011 Q1 Results Reporting

4

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

[売上高について]

当第1四半期は、PLDソリューションやASSPソリューションにおきまして、量産時期となっている次世代通信インフラ、データセンター、及び産業機器向けの顧客に継続的な技術サポートを行うことで売上の拡大を図ってまいりました。大震災以降、特にPLDに関して、東北地方のお客様への納入が一時的に困難になりましたが、当第1四半期を通じて産業機器向けにPLDが堅調に推移したこと等により、売上高は39億45百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

[営業利益について]

2011年3月末に(株)ハギワラシスコムが民事再生法の適用を申請したこと等により貸倒引当金22百万円を計上いたしました。年初に円高傾向が継続したことや、PLDソリューションの産業機器向けの顧客が堅調に推移したこと等により、売上総利益率が改善し、営業利益は61百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

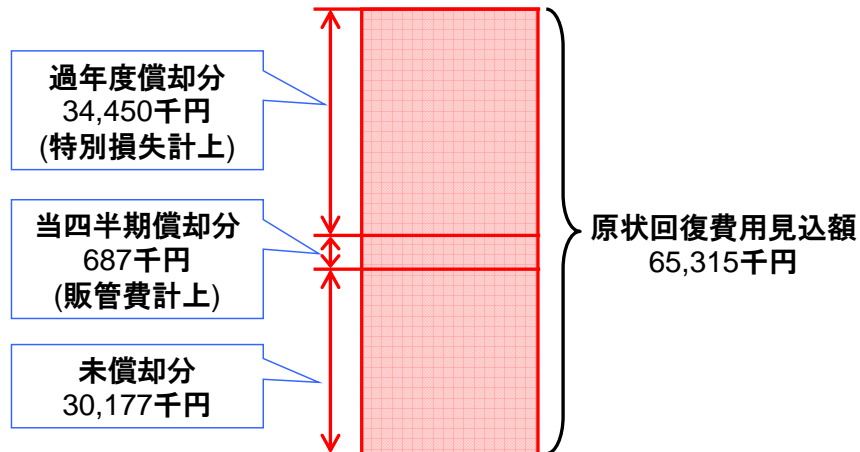
[経常利益について]

2011年3月末にかけて、ドル円相場が円安に進行し為替差損29百万円を計上したこと等により、経常利益は28百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

[四半期純利益について]

資産除去債務に関する会計基準の適用による特別損失を34百万円計上した結果、19百万円の四半期純損失（前第1四半期は8百万円の四半期純利益）となりました。

賃借不動産について、原状回復費用の発生により、
敷金の回収が見込めない金額を費用計上(入居見込期間で均等償却)



当社においては、今期(2011年12月期)より「資産除去債務に関する会計基準」が適用されます。

当社においては、本社オフィス、各拠点オフィス、ロジスティックセンターなどの賃貸不動産を退去する際に発生する原状回復費用により、敷金の回収が見込めない金額を資産除去債務として、入居見込期間で均等償却することとしています。

今回、過年度分の償却として、34百万円を特別損失として計上し、当四半期償却分687千円を販管費に計上しています。なお、当期償却額の年額は、2,748千円となります。



2011年12月期第1四半期 貸借対照表増減

	(百万円)	2010年 期末	2011年 第1四半期	増減	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	2,026	2,129	103	
	売上債権	3,485	3,437	△48	
	商品	1,635	4,568	2,933	震災の影響で、お客様への納入が一時的に停止したため
	その他流動資産	2,160	1,492	△667	消費税の還付を受けたため
	固定資産	467	425	△42	
資産合計		9,774	12,052	2,278	
負債純資産内訳	仕入債務	566	2,903	2,336	商品在庫増加のため。なお、出荷後、仕入値引が適用される予定
	短期借入金	—	—	—	
	その他流動負債	888	924	35	
	固定負債	234	240	5	
	純資産	8,084	7,984	△99	配当金の支払い及び四半期純損失を計上したため
負債・純資産合計		9,774	12,052	2,278	

FY 2011 Consolidated Reporting

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

[資産について]

当第1四半期末の総資産は120億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億78百万円増加しました。

これは、東日本大震災の影響で、当第1四半期末において一部のお客様へ商品の納入ができなかったため、商品が増加したこと等によるものです。なお、4月に入ってお客様への納入が可能になったことにより、現時点では商品は減少しております。

また、その他流動資産の減少は、消費税の還付を受けたこと等によるものです。

[負債について]

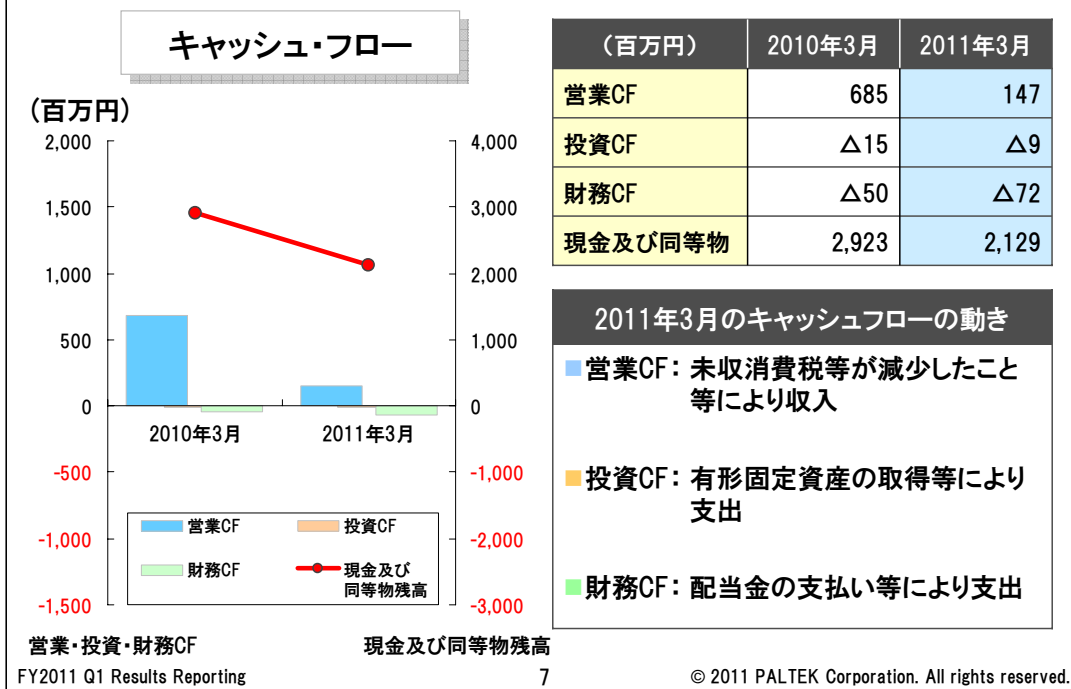
当第1四半期末の負債は、40億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億77百万円増加しました。

これは、商品在庫の増加のため、仕入債務が増加したこと等によるものです。なお、この仕入債務の多くは、商品出荷後に仕入値引が適用される商品であるため、キャッシュフローに大きな影響はありません。

[純資産について]

当第1四半期末の純資産は79億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少しました。

これは主に配当金の支払及び四半期純損失の計上によるものです。



[営業活動によるキャッシュ・フロー]

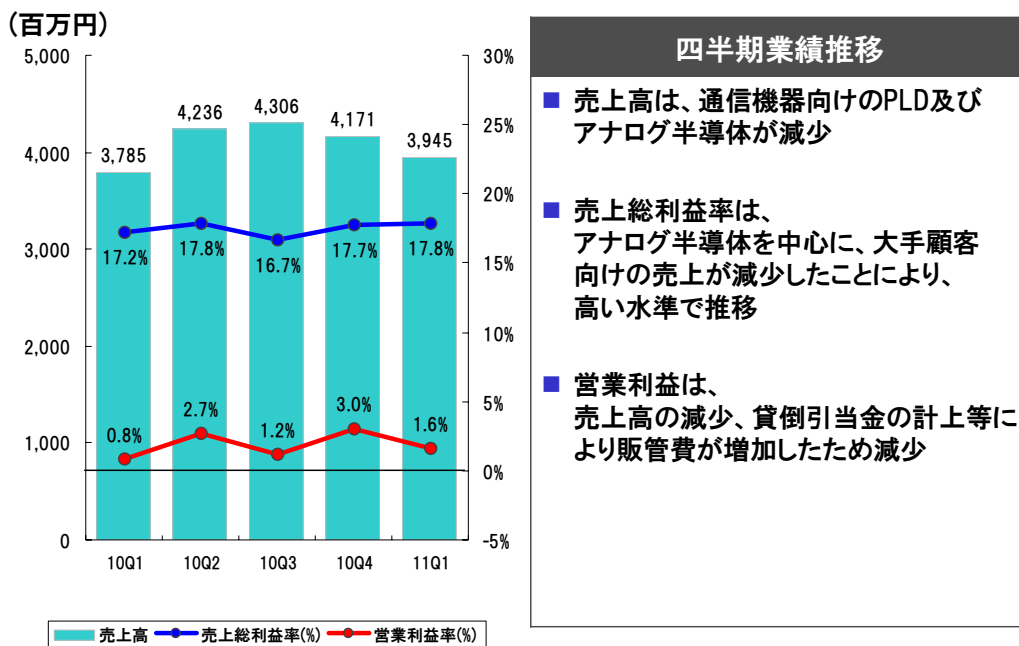
税金等調整前四半期純損失を6百万円計上したこと、たな卸資産が増加した一方で、未収消費税等が減少したこと、仕入債務が増加したこと等により、1億47百万円の収入(前第1四半期は6億85百万円の収入)となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産を取得したこと等により、9百万円の支出(前第1四半期は15百万円の支出)となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払いを実施したこと等により、72百万円の支出(前第1四半期は50百万円の支出)となりました。



[売上高について]

前四半期(10Q4)に比べ、携帯電話の基地局等の通信機器向けのPLD、およびナショナル セミコンダクター社のアナログ半導体が減少しました。

[売上総利益率について]

アナログ半導体を中心に、大手顧客の量産案件が減少したことにより、引き続き高い水準で推移しています。

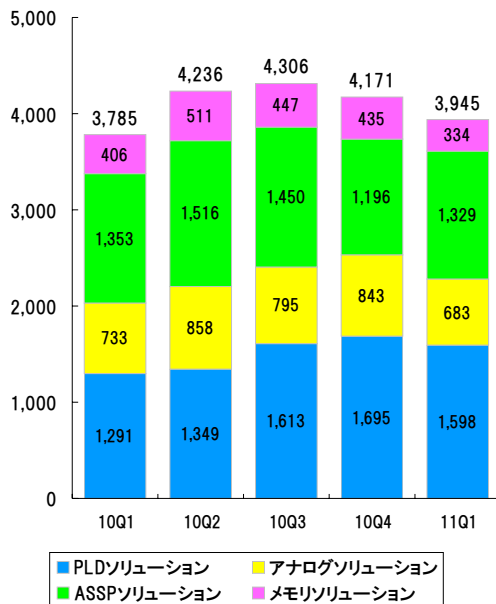
[営業利益について]

前四半期(10Q4)に比べ、売上高が減少しており、また(株)ハギワラシスコム of 民事再生法の適用申請を受け貸倒引当金22百万円を計上し、販管費が増加したことにより、営業利益は減少しました。



ソリューション別売上高推移

(百万円)



四半期業績推移

- PLD
放送機器・計測機器向けは引き続き堅調だが、震災の影響により一部のお客様に納入できなかったこと、通信機器向けが減少したことにより低調
- アナログ
ナショナル セミコンダクター社との契約解消に向けて、取引顧客の移管が進み減少
- ASSP
ブロードバンド向け通信機器及び携帯端末向けタッチパッドが堅調
- メモリ
中堅・中小顧客向けが減少

FY2011 Q1 Results Reporting

9

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

各ソリューションの状況について、説明いたします。

[PLDソリューションについて]

前四半期(10Q4)に比べ、放送機器向け・計測機器向けは引き続き堅調に推移しておりますが、震災の影響により一部のお客様に納入ができなかったこと、携帯電話基地局等の通信機器向けが減少したこと等により低調に推移いたしました。

[アナログソリューションについて]

2011年3月末をもって、ナショナル セミコンダクター社との契約解消いたしましたので、当第1四半期においては取引顧客の移管作業を行いました。そのため、売上高は減少いたしました。

[ASSPソリューションについて]

ブロードバンド向け通信機器、携帯端末向けタッチパッドが堅調に推移いたしました。

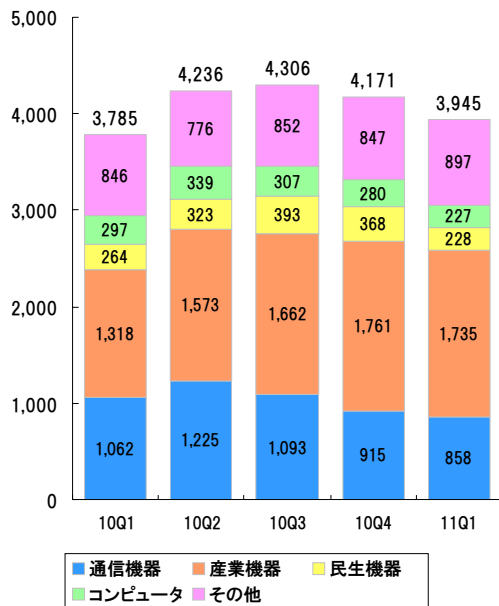
[メモリスソリューションについて]

中堅・中小顧客向けに減少いたしました。



アプリケーション別売上高推移

(百万円)



四半期業績推移

- 通信機器
PLDが携帯電話の基地局向けに減少
- 産業機器
放送機器向け、計測機器向けが堅調に推移

FY2011 Q1 Results Reporting

10

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

主要なアプリケーションの状況について説明いたします。

[通信機器向けについて]

PLDにおいて、携帯電話基地局向け等について減少いたしました。

[産業機器向けについて]

PLDにおいて、放送機器向け、計測機器向けに堅調に推移いたしました。



今後に向けて

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

当社では、今後に向けて、特に表記の4点に注力してまいります。

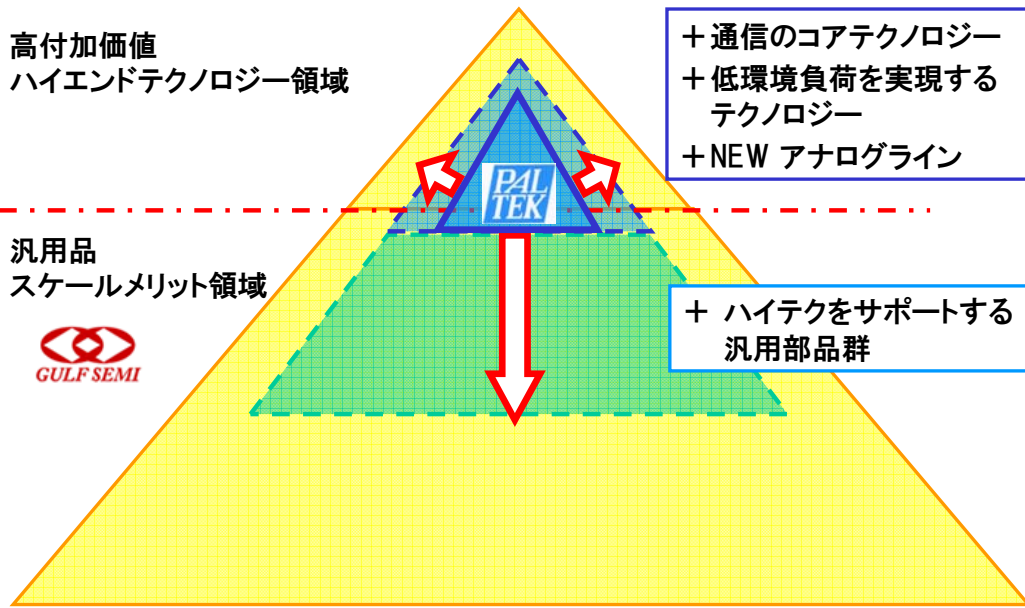
- ・既存ビジネスの拡大
- ・新規取扱商材の拡充
- ・スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- ・デザインサービス事業の強化

当第1四半期においては、

- ・新規取扱商材の拡充
 - ・スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- の2点について報告させていただきます。



新規取扱商材の拡充



FY2011 Q1 Results Reporting

12

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

(図では半導体製品のマーケットを模擬的に表しています。外側黄色の大きい三角部分が全マーケットです)

当社はこれまで、高付加価値ハイエンドテクノロジーの領域の製品を多く取り扱ってまいりました。

(図では中央の濃い青の三角で示しています)

今後も引き続き、「通信のコアテクノロジー」、「低環境負荷を実現するテクノロジー」、「新しいアナログ半導体」に関する商材を強化してまいります。

(図では濃い青の三角の周りに、点線の三角で広がる市場を示しています)

そして、これに加え、汎用的なスケールメリットを享受できるような「ハイテクをサポートする汎用部品」についても取り扱いを拡充してまいります。

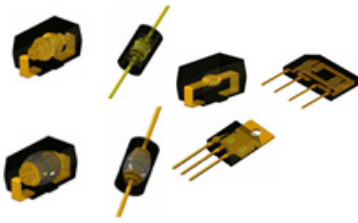
(図では緑色の三角で示しております)

今回、汎用品スケールメリット領域の商品として、「ガルフセミコンダクター社」の取り扱いを開始いたしましたので、説明いたします。

ガルフセミコンダクター社



- ガルフセミコンダクター社は、整流ダイオード、ブリッジ、ショットキーバリアダイオードの専門メーカー（本社：中国山東省済南市）
- チップからパッケージまで一貫生産し、低コスト・安定供給・高品質を実現
- 2010年度：US\$40M(約34億円)、年率40%アップで成長中。3年以内にUS\$80M(約68億円)を視野に入れている
- エアコン、白物家電、モニター、照明機器、電源モジュールなど幅広い分野の民生・産業機器に供給が可能



FY2011 Q1 Results Reporting

13

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

ガルフセミコンダクター社は、整流ダイオード、ブリッジ、ショットキーバリアダイオードの専門メーカーです。産業機器用の高信頼性整流ダイオードから民生用ローコストダイオードまで幅広くラインナップをそろえています。

中国山東省に広大な自社工場を有し、前工程と後工程を同一工場で一貫生産しているため、低コストで安定した製品供給を実現しています。また、日本、米国、韓国などの大手メーカーの品質検査をクリアしており、高い品質を維持しています。

ガルフセミコンダクター社は、2010年には売上高34億円をあげており、年率40%で成長しています。3年以内に68億円の売上を目指しています。

当社は、エアコン、白物家電、モニター、照明機器、電源モジュールなど幅広い分野の民生・産業機器に、ガルフセミコンダクター社製品を提供してまいります。

【ご参考】

ガルフセミコンダクター社製品取扱開始に関するプレスリリースは、当社WEBサイトに掲載しておりますので、ご覧下さい。

<http://www.paltek.co.jp/corporate/ir/shiryo/newsrelease/2011/c110421.htm>



スマートグリッド事業の立ち上げ

国際スマートグリッドEXPO出展

国際スマートグリッドEXPO

- 日付 : 2011年3月2日(水)～4日(金)
- 場所 : 東京ビックサイト
- 展示物
 - 太陽光発電リアルタイム・パワーコントローラ
 - 福岡スマートハウスコンソーシアム
 - 米国アイトロン社、スペイン・イベルドロウラ社及びポルトガル・EDP社のスマートメーター
 - ハイブリッド・エネルギー管理システム
 - PRIMEアライアンス公認PLCソリューション
 - 無線センサネットワークを用いた次世代FEMS
- 来場者 : PALTEKブース 3,042人
(展示会全体で90,011人)



PALTEKブースは非常に盛況

当社は、2010年よりスマートグリッド事業部を設置し、スマートエネルギー分野の事業立ち上げを行ってまいりました。

2010年6月には「スマートグリッド展2010」に出展し、多くのお客様に当社取扱製品等について提案させていただきました。

昨年に続き、2011年3月2日～4日に開催された「国際スマートグリッドEXPO」に出展いたしました。

今回の展示会では、上記に掲載している、より具体的なソリューションや製品を展示し、3000人を超えるお客様に来展いただきました。

この展示会から具体的な案件も発掘できましたので、今後のビジネスにつなげていきたいと考えております。

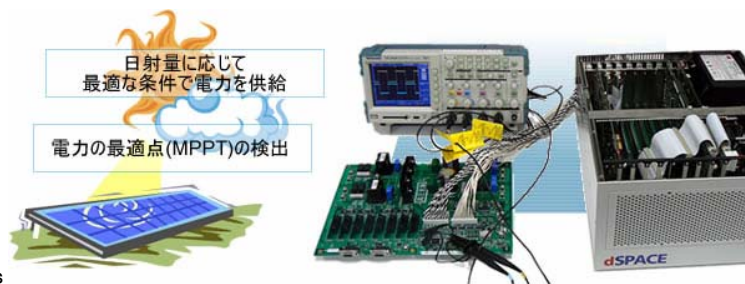
【ご参考】

「国際スマートグリッドEXPO」の出展レポートを当社WEBサイトに掲載しておりますので、ご覧下さい。

<http://www.paltek.co.jp/solution/technology/smartgrid/expo01/index.htm>11

太陽光発電 リアルタイム・パワーコントローラを開発・販売

- 福岡スマートハウスコンソーシアムでの実証実験の成果を活用し、太陽光発電の模擬出力環境を実現
 - 自動車や航空機などですでに標準となっている開発手法を応用し、天候に左右される太陽電池の出力電圧/電流、日射量などをモデル化
 - 太陽光の発電設備が不要のため、開発コストを大幅に低減し、開発期間を短縮
- パワーコンディショナや充電器等のようなインバータ/コンバータの開発を行うメーカーに対して提案



FY2011 Q1 Results

All rights reserved.

当社は、太陽電池が出力する電力を模擬的に発生させることができる「リアルタイム・パワーコントローラ」を開発し、販売しております。

このリアルタイム・パワーコントローラは、福岡スマートハウスコンソーシアムでの実証実験の成果を活用し、株式会社スマートエナジー研究所、dSPACE Japan株式会社、及び崇城大学 エネルギーエレクトロニクス研究所の協力のもと開発いたしました。

今後、電気自動車の普及に伴う充電インフラの整備や、太陽光発電の普及に伴う逆流など、バッテリーや系統、再生可能エネルギーを連携したエネルギー変換ユニットの開発はますます複雑化していくと考えられます。

この製品により、パワーコンディショナや充電器等のようなインバータ/コンバータなどの太陽光発電周辺機器の開発において実際に太陽光発電システムを設置せずに開発を行うことができるため、システムの開発期間短縮やコスト低減を実現することが可能となります。

【ご参考】

太陽光発電リアルタイム・パワーコントローラに関する情報は、当社WEBサイトに掲載しておりますので、ご覧下さい。

<http://www.paltek.co.jp/solution/technology/smartgrid/rtc.htm>

プレスリリースはこちらをご覧ください。

<http://www.paltek.co.jp/corporate/ir/shiryo/newsrelease/2011/c110301.htm>



経営体制の強化

■ 代表取締役の異動

- 代表取締役を2名体制にすることにより、更なる機動力・経営力の強化を図る
- 代表取締役常務に矢吹尚秀が就任

■ 新任監査役を3名選任、社外監査役を2名から3名に

- 任期満了により、全監査役(3名)が退任となるため、新たに社外監査役3名を選任
- 社外監査役(常勤) 関本 哲志
 - 元ソニー株式会社 ITC品質保証部長
- 社外監査役 福井 誠
 - 元京セラコミュニケーションシステム株式会社 常務取締役
- 社外監査役 長谷川 浩一
 - 元日本電気株式会社 理事
 - 天津NEC 総経理

2011年3月26日に開催した第29期定時株主総会およびその後の取締役会にて、以下の役員人事を決定いたしました。

[代表取締役の異動について]

代表取締役を2名体制にすることにより、更なる機動力・経営力の強化を図ります。
代表取締役常務に矢吹尚秀が就任いたしました。

[新任監査役を3名選任]

任期満了により、全監査役(3名)が退任となるため、新たに社外監査役3名を選任いたしました。

これにより、社外監査役は3名となります。

新任監査役は上記のとおりです。



2011年12月期 業績見通し

2011年12月期 業績見通しについて、説明いたします。

現時点では見通しが不透明なため、変更は行わない

- **東日本大震災のお客様の生産への影響**
 - 一部のお客様の工場が被災したが、現時点では操業再開
 - 今後、部品供給等の状況などにより、お客様の生産活動に影響を及ぼす可能性あり
- **東日本大震災の半導体のサプライチェーンへの影響**
 - シリコンウェハ等の半導体の材料を生産する工場が被災したため、今後、半導体のサプライチェーンに影響を及ぼす可能性あり
- **電力不足に伴う市場の変化**
 - お客様の生産工場において、電力不足の影響により生産活動の調整が行われる可能性あり
 - スマートグリッドビジネスの加速(節電関連ビジネス)

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東日本大震災により、当社の一部のお客様の生産拠点が被災いたしました。現時点においては操業は再開されておりますが、今後部品供給の状況などによりお客様の生産活動に影響を及ぼす可能性があります。

また、今回の震災により、シリコンウェハ等の半導体材料を生産する工場も被災し、半導体のサプライチェーンにも影響を及ぼす可能性があります。

その他、電力不足の影響により、生産活動の調整が行われる可能性もあります。

これらにより、当社業績に影響を及ぼす可能性はありますが、現時点においては見通しが不透明なため、業績見通しの変更は行いません。

一方で、震災からの復興を促進する上では、インフラ関連の設備投資が行われていくと考えられ、またこの夏の電力不足に対して、節電関連の需要が増加すると想定されますので、当社としてもこれらの分野にソリューションを提供してまいりたいと思います。



2011年12月期 業績予想

通期業績予想(変更なし)

(百万円)	2010年12月期 実績			2011年12月期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	8,021	8,478	16,499	8,000	10,000	18,000
売上総利益	1,406	1,457	2,864	1,375	1,640	3,015
売上総利益率	17.5%	17.2%	17.4%	17.2%	16.4%	16.8%
販管費	1,259	1,282	2,541	1,335	1,350	2,685
営業利益	147	175	322	40	290	330
営業利益率	1.8%	2.1%	2.0%	0.5%	2.9%	1.8%
経常利益	186	262	448	30	270	300
当期純利益	95	142	238	18	162	180

FY2011 Q1 Results Reporting

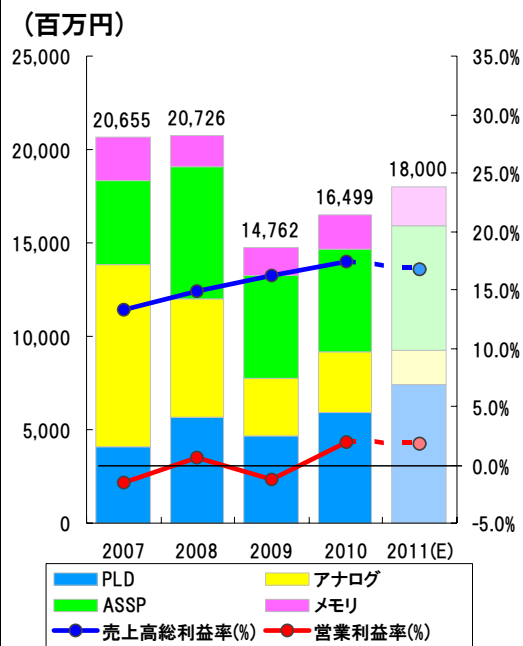
19

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

業績見直しに関しては、現時点では変更していません。



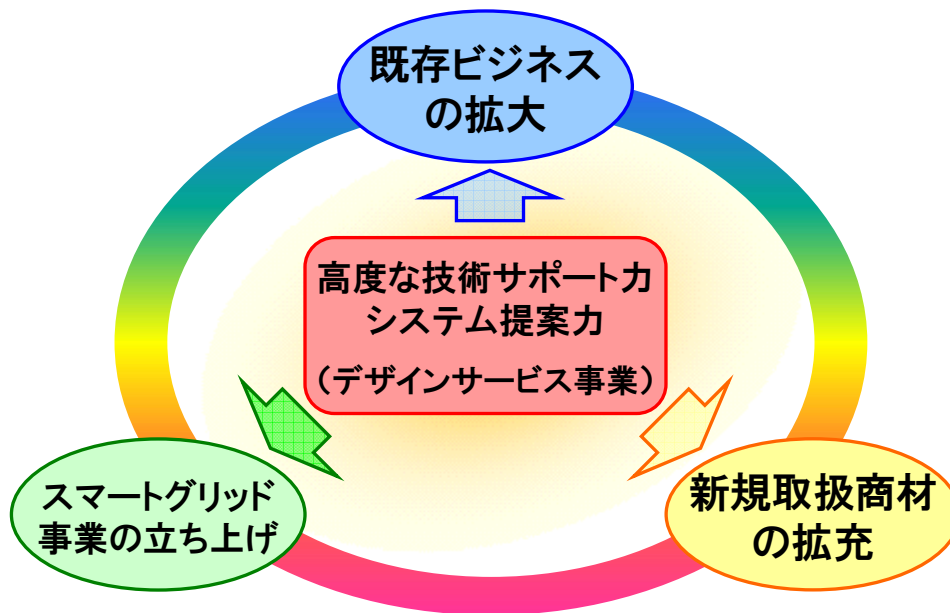
業績見通しの推移



通期業績の見通し(変更なし)

- 売上高**
 アナログについては、ナショナルセミコンダクターとの代理店契約が3月末で終了することを受け減少するが、PLD及びASSPが堅調に増加する見通し
- 売上総利益率**
 下期に量産案件が立ち上がるため、売上総利益率は低下する見通し
- 営業利益**
 売上総利益率の低下及び人員増等による経費の増加により、営業利益率は若干低下する見通し

業績見通しに関しては、現時点では変更していません。



当社は、高度な技術サポート力、システム提案力を強みに、

- ・デザインサービス事業の強化
- ・既存ビジネスの拡大
- ・新規取り扱い商材の拡充
- ・スマートグリッド事業の立ち上げ

を行ってまいります。



IRの窓口

以下の担当までお問い合わせ下さい。

柴崎 由記（総務グループ IR担当）

株式会社PALTEK

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL :045-477-2016

FAX :045-477-2012

E-mail :ir@paltek.co.jp

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

参 考 资 料



2011年12月期 ソリューション別業績予想

通期業績予想(変更なし)

(百万円)	2010年12月期 実績			2011年12月期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
PLD	2,640	3,309	5,950	3,400	4,000	7,400
アナログ	1,592	1,638	3,231	800	1,050	1,850
ASSP	2,870	2,647	5,518	2,950	3,700	6,650
メモリ	918	882	1,800	850	1,250	2,100
売上高合計	8,021	8,478	16,499	8,000	10,000	18,000
営業利益	147	175	322	40	290	330

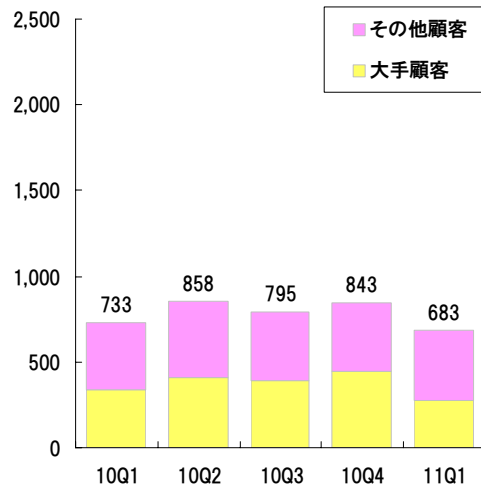
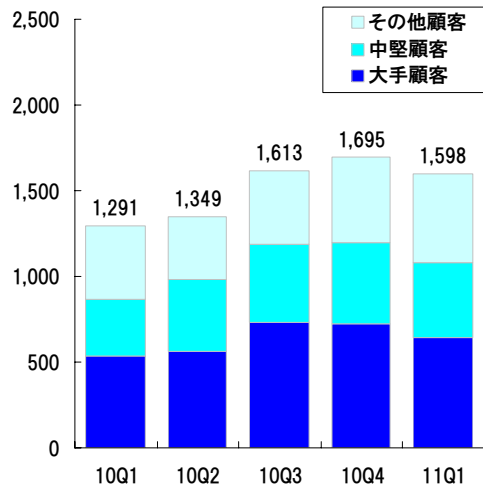


各ソリューションにおける業績推移①

PLDソリューション

アナログソリューション

(百万円)



ASSPソリューション

メモリソリューション

(百万円)

